

## 会員サービス「ザ・シネマメンバーズ」で ヴィム・ヴェンダース監督の傑作映画15作品を連続特集！ 7月は新作の公開も控えた『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』を配信 抽選で50名様に新作『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス』の劇場鑑賞券も当たる！

洋画専門チャンネルザ・シネマ(運営:株式会社ザ・シネマ 所在地:東京都港区赤坂/代表取締役社長 三上義之)の、会員サービス「ザ・シネマメンバーズ」は、7月よりニュー・ジャーマン・シネマの旗手であり、ロードムービーの名手、ヴィム・ヴェンダース監督の手掛けた15作品を7カ月連続で特集配信致します。

7月はドキュメンタリーの代表作で、世界的大ヒット映画『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』(1999年)、初期の意欲作でヴェンダース唯一の歴史劇『緋文字』(1972年)、ヴェンダースの原点とも言えるロードムービーの名作『都会のアリス』(1975年)と、ヴェンダース監督を紐解くトークイベント『ザ・シネマSCHOOL「ヴィム・ヴェンダースとは一体何者か」』を配信。以降、2019年1月にかけて、合計15作品を連続配信します。また、新たにプレミアム会員登録(月額500円)した方の中から抽選で50名様に、7月20日(金)に公開される新作映画『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス』の劇場鑑賞券が当たる、「ザ・シネマメンバーズ」入会記念キャンペーンも実施。貴重なヴィム・ヴェンダース監督作品の特集配信に、どうぞご期待ください。

### 【特集：ヴィム・ヴェンダース 配信予定作品】

ニュー・ジャーマン・シネマの旗手であり、ロードムービーの名手、ヴィム・ヴェンダース監督作品を7月から毎月配信。今なお実験の精神を失うことなく、様々な試みに挑戦し作品を作り続けるヴェンダース監督の初期作品をお楽しみ下さい。ザ・シネマでしか見ることができない、ヴェンダース監督の魅力に迫るトークショーを同時配信。日本にヴェンダース作品を紹介した映画プロデューサー・堀越謙三氏、映画評論家・樋口泰人氏が、その人物像や作品に深く切り込みます。

配信	タイトル	製作年
7月	ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ	1999
	緋文字	1972
	都会のアリス	1973
	ザ・シネマSCHOOL 「ヴィム・ヴェンダースとは一体何者か」前後編	2018
8月	まわり道	1974
	さすらい	1975
9月	アメリカの友人	1977
	左利きの女	1977

配信	タイトル	製作年
10月	ニックス・ムービー／水上の稲妻	1980
	この次第	1981
11月	666号室	1982
	パリ、テキサス	1984
12月	東京画	1985
	ベルリン、天使の詩	1987
2019年 1月	都市とモードのビデオノート	1989
	ベルリンのリュミエール	1995

「ザ・シネマメンバーズ」は、どなたでも月額500円(税別)でご利用いただけます。一部のコンテンツは、無料の会員登録のみでもご覧いただけます。動画コンテンツは、会員登録の上「ザ・シネマメンバーズ」公式アプリのダウンロードをしてご覧いただけます。

何が見られるかまずチェック！「ザ・シネマメンバーズ」で検索下さい。

「ザ・シネマメンバーズ」WEBサイト:<https://www.thecinema.jp/cinema-members/about/>

### 入会記念キャンペーン！『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス』の劇場鑑賞券を50名様にプレゼント！



© 2017 Broad Green Pictures LLC

「ザ・シネマメンバーズ」の全てのコンテンツがご覧いただけるプレミアム会員(月額500円)に7月1日(日)～7月16日(月・祝)にご加入頂いた方の中から抽選で50名様に、7月20日(金)公開の映画『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス』の劇場鑑賞券(ムビチケ)をプレゼント！

【応募方法】ザ・シネマメンバーズのプレミアム会員に登録後、ザ・シネマのプレゼント応募サイトから、必要事項を記入して応募。(ザ・シネマ: <https://www.thecinema.jp/>)

【応募期間】7月1日(日)～7月16日(月・祝)23:59

### 『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス』7月20日(金) TOHOシネマズ シャンテほか全国順次公開

【製作総指揮】：ヴィム・ヴェンダース 【監督】ルーシー・ウォーカー

アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞にノミネートされ、ミニシアターの枠を超えた大ヒット！社会現象まで巻き起こした伝説の傑作『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』。あれから18年。グループによるステージでの活動に終止符を打つと決めた現メンバーが、「アディオス(さよなら)」「世界ツアーを決定。カメラは、彼らのプロとしてのキャリアの浮き沈み、これまでのパーソナルな旅路やメンバーの死にも肉薄していく。音楽の女神に愛された彼らの人生哀歌、至極の音楽ドキュメンタリー。いよいよ日本へ。

ザ・シネマとは 映画の王道ハリウッド作品を中心に、ヒット作・話題作から心に残る名画まで、本編途中CM無しで、映画の魅力を100%、24時間お楽しみいただける洋画専門CSチャンネル。全国のケーブルTV局、スカパー！(227ch)、スカパー！プレミアムサービス(631ch)、ブロードバンドTVなど514万世帯以上で視聴可能。

【公式HP】<https://www.thecinema.jp/> 【公式Twitter】[https://twitter.com/thecinema\\_ch](https://twitter.com/thecinema_ch)

■ 報道関係の方のお問い合わせ先 ■

㈱東北新社 デジタルメディア事業部 編成企画部 プロモーション  
担当:野島【[nojima@tfc.co.jp](mailto:nojima@tfc.co.jp)】 TEL:03-5414-0305 FAX: 03-5414-0433

■ 一般の方のお問い合わせ先 ■

ザ・シネマ カスタマーセンター  
TEL:045-330-2176(月～金9:30～18:30(祝日除く))

7月～



© The Cinema Inc. All Rights Reserved.

## ザ・シネマSCHOOL「ヴィム・ヴェンダースとは一体何者か」前編・後編

約50年もの間、精力的に作品を発表し続けているヴィム・ヴェンダース監督の魅力に迫るトークショー。日本にヴェンダース作品を紹介した堀越謙三氏、映画評論家・樋口泰人氏が、その人物像や作品に深く切り込む。

7月～



© 1972 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## 緋文字

【製作年】1972年  
ヴィム・ヴェンダース監督が40年以上のキャリアの中で唯一手がけた歴史劇。何度も映画化されてきたナサニエル・ホーソーンの小説を原作に、コミュニティの規律や偏見によって孤立した女性の苦悩と尊厳を描き出す。

8月～



© 1975 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## まわり道

【製作年】1974年  
ヴィム・ヴェンダース監督が『都会のアリス』に続いて撮り上げた“ロードムービー3部作”の第2作。ゲーテの「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」を現代に翻案し、さまよえる若者の孤独を寂寥感漂うムードで描く。

9月～



© 1977 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## アメリカの友人

【製作年】1977年  
『太陽がいっぱい』の原作者として名高いパトリア・ハイスミスの小説を、ヴィム・ヴェンダース監督が映画化。デニス・ホッパーを主演に迎え、犯罪が縁で結ばれた男同士の奇妙な友情を描くサスペンス・ロマンだ。

10月～



© 1980 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## ニクス・ムービー／水上の稲妻

【製作年】1980年  
ヴィム・ヴェンダース監督が『大砂塵』『理由なき反抗』などの孤高の映画作家、ニコラス・レイとのコラボレーションを実現した一作。現実と虚構が錯綜する映像世界に、死期迫るレイの壮絶な姿が刻み込まれた異色作だ。

11月～



© 1982 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH, CHRIS SIEVERNICH

## 666号室

【製作年】1982年  
映画の現状と未来に危機感を抱いたヴィム・ヴェンダースが、フランスのカヌで撮った中編ドキュメンタリー。ゴダールの著名な映画監督15人が次々と登場し、ヴェンダースからの質問状に独自の意見を表明していく。

12月～



© 1985 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH, CHRIS SIEVERNICH

## 東京画

【製作年】1985年  
東京での映画祭に参加するため来日したヴィム・ヴェンダースが、その機会に撮り上げたドキュメンタリー。巨匠、小津安二郎へのオマージュをこめ、好奇心に突き動かされるように東京の多様な風景を切り取った一作だ。

2019年12月～



© 1989 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## 都市とモードのビデオノート

【製作年】1989年  
ヴィム・ヴェンダース監督の『東京画』に続く2本目の長編ドキュメンタリー。日本を代表するデザイナー、山本耀司との対話や初めてのビデオカメラによる撮影を通して、映画とモードの未来を模索した興味深い一作だ。

7月～



© 1999 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH

## ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ

【製作年】1999年  
ヴィム・ヴェンダース監督と映画音楽も手がける世界的ギタリストのライ・クーダーが製作。映画撮影で再発見されたキューバの伝説的ミュージシャン達が、円熟した演奏を聴かせる歴史的ステージは必見。

7月～

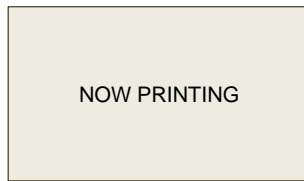


© 1973 Reverse Angle Library GmbH

## 都会のアリス

【製作年】1973年  
『まわり道』『さすらい』へと連なるヴィム・ヴェンダース監督の“ロードムービー3部作”の第1作。ひよんなことから旅の道連れとなった青年と少女の不思議な交流劇が、粒子の粗いモノクロ映像で詩情豊かに展開する。

8月～



## さすらい

【製作年】1975年  
ヴィム・ヴェンダース監督が『都会のアリス』『まわり道』に続いて撮り上げた“ロードムービー3部作”の第3作。

9月～



## 左利きの女

【製作年】1977年  
ヴィム・ヴェンダースが製作を担当した人間ドラマ。監督・脚本は「幸せではないが、もういい」の著者でもあるペーター・ハントケ。

10月～



© 1982 Reverse Angle Library GmbH

## ことの次第

【製作年】1981年  
『ハメット』でフランシス・F・コッポラと衝突したヴィム・ヴェンダース監督が、その苦い経験を投影させたベネチア国際映画祭金熊賞受賞作。新作の撮影中断に追い込まれた映画監督の虚ろな心象風景を浮き彫りにする。

11月～



© 1984 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH, ARGOS FILMS S.A. and CHRIS SIEVERNICH, PRO-JECT FILMPRODUKTION IM FILMVERLAG DER AUTOREN GMBH & CO. KG

## パリ、テキサス

【製作年】1984年  
カンヌ国際映画祭パルムドールに輝いたヴィム・ヴェンダースの代表作。雄大なテキサスの風景とライ・クーダーが奏でる哀愁のギター音楽をバックに、記憶喪失の放浪者となった男の孤独、失われた愛の行方を映し出す。

12月～



© 1987 REVERSE ANGLE LIBRARY GMBH and ARGOS FILMS S.A.

## ベルリン・天使の詩

【製作年】1987年  
天使と人間の女性の愛を描き、日本でも大ヒットしたヴィム・ヴェンダース監督のファンタジー。まだ“壁”が存在していたベルリンを舞台に、天使の視点と人間の視点をカラーで表現した映像美にも魅了される。

2019年12月～



## ベルリンのリュミエール

【製作年】1995年  
ヴェンダースがミュンヘン映画テレビ大学の学生たちと撮影した、映画の誕生を描いたセミドキュメンタリー。ピオスコープというプロジェクターを発明したスクラダノスキー兄弟の回想録。